

2018年2月号へのご意見

多面的評価は、生徒の資質・能力の本質に迫るもの

特集を読み、東京都立町田高校の牛来峯聡統括校長の「多様な資質・能力を身につけた生徒が、大学が用意している多様な入試に対応できるというストーリーを描くことが、高校に求められる役割」という言葉に強く共感した。次期学習指導要領や高大接続改革があるから多面的評価を行うというのでは本末転倒だ。多面的評価は、その学校で生徒に育む資質・能力の本質に迫るものだと捉えている。 北海道札幌藻岩高校 長井 翔

場づくりがあってこそその活動

「実践 アクティブ・ラーニング」の森先生の実践を読み、授業中の生徒の脳をアクティブにするために、厳密に時間を管理して脳に負荷をかけるという点に大変共感した。そうすることで、生徒は時間内に考えようとする癖がつくと思う。また、気心が知れた仲でも、挨拶をきちんとさせるなど、互いを認め尊重し合うような場づくりについても共感した。どのような活動も場づくりあってのものであり、そうした感覚は大切にしなければならないと思った。 山形県立米沢工業高校定時制 高橋英路

教師間で評価のベクトルをそろえる

特集を読み、今後、eポートフォリオの活用がさらに広がるのではないかと予想している。実践事例1にあったように、生徒が実験に失敗したことを「目標未達成」と判断(評価)せずに、自ら考えて実験し、論理的に考えることができたという評価(記録)できるように、多面的評価を実施するにあたり、教師間で評価のベクトルをそろえることが重要だと感じた。

東京都・私立東京農業大学第一高校・中部部 小堀健一

班ごとの活動で幅広く生徒を指導する

「実践 アクティブ・ラーニング」の都築先生の実践で紹介された、班ごとに実験を行い、その過程と結果を共有・発表するという点から、指導のヒントを得た。個別学力検査対策では個別の添削指導が効果的だが、志望校が固まる前の指導を模索していた。班ごとにレポートや課題に取り組みせ、それを添削することで、より多くの生徒を指導することが可能になると思った。茨城県 匿名希望



教育 ちょこっとトーク

テーマ

新入生にかけたい言葉

- ・挑戦するか迷ったら、まずは挑戦してみよう! 長野県
- ・君たちは「新たな学び」の体現者だ。北海道

- ・これからの時代をリードするのは、君たちだ。茨城県
- ・3年間、たくさん挑戦をしてたくさん失敗をしましょう。東京都

自分を変えた言葉 を募集しています!

「教師を育てた言葉たち」(左ページ)のコーナーでは、取材にご協力いただける先生を募集しています。「あの一言で指導観が変わった」「あの一言が自分を成長させてくれた」という言葉と、それにまつわるエピソードをお待ちしています。

〈個人情報の取扱について〉をご確認いただき、
必要事項①～④をご記入の上、
下記のe-mailアドレスにご送信ください

- ①学校名・お名前 ②分掌・ご教職歴 ③紹介したい言葉
- ④エピソード(どんな時に言われた or 出合った、それによって自分がどう変わったのかなど)

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「教師を育てた言葉たち」の言葉募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じる場合があります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時)にて承ります。
(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者)
上記をご承諾くださる方はご送信ください。

編集後記

今号の「VIEW'S REPORT」のコーナーで取り上げた福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」では、福岡県教育センターを訪れ、インタビュー後、特命プロジェクトチームの定例会議も取材させていただきました。記事でもお伝えしたチームメンバーによるグループワークは、とても和やかな雰囲気、メンバーの関係性のよさを感じました。どのグループもメンバーが協働し、それぞれの形でしっかりアウトプットされていたことにも、メンバー一人ひとりの高い主体性が表れていました。まさに、「これからの会議・研修のあり方、つくり方」のコーナーでも追求する、自由な対話による会議が実現されていると感じました。(柏木)



VIEW21 高校版 2018 6 月号

次号は 6月20日発行(予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です